

喜歌劇楽友協会 第 61 回 定期公演

E. カールマン作曲

オペレッタ「マリツァ伯爵夫人」全 3 幕

出演者募集要項

喜歌劇楽友協会では、2027 年 6 月 26 日に第 61 回定期公演オペレッタ「マリツァ伯爵夫人」(全 3 幕) の上演を予定しており、ソリスト出演者を募集します。ハンガリーを舞台に情熱的な未亡人マリツァとウィーン貴族だが財産を失って彼女の別荘で管理人をしているタシロとの愛をカールマンの甘いメロディが優しく包むミュージカルの愛のロマンスを一緒に創り上げて行きましょう！

■公演概要

公演日：2027 年 6 月 26 日(土) 12 時開演／16 時開演 (2 回公演)

*ダブルキャスト *開演時間は予定

会 場：フェニーチェ堺大ホール (大阪府堺市堺区翁橋町 2-1-1)

入場料：7,500 円 自由席 (一部、限定特別指定席 (8,500 円) あり)

演出・振付・上演台本： 黒田 晋也 (オペレッタ座代表)

公演監督・音楽監督・指揮： 井村 誠貴 (喜歌劇楽友協会理事長)

訳詞： 向井 楫爾 (喜歌劇楽友協会名誉理事長)

管弦楽： ムジカフィルハーモニー管弦楽団

合唱： 喜歌劇楽友協会合唱部

演出助手： 東 平聞

振付補佐： 定國 可奈

照明： 佐藤 仁美 (南海ステージ)

衣裳： 村上 まさあき

かつら・メイク： 桂や

舞台監督： 倉片 公

スーパーバイザー： 牧村 邦彦 (喜歌劇楽友協会顧問)

ソリスト・オーディション

■日時：2026年8月30日（日）13:00～18:00

■会場：大阪新生教会 大阪市東住吉区南田辺 3-4-23

■募集ソリスト：マリツァ伯爵夫人（Sop.）（裕福で美しい未亡人）

タシロ・エンドレディ（Ten.）（ウィーンの貴族）

リーザ（Sop.）（タシロの妹）

コロマン・ジュパン（Bar.）（ヴァラッシュディーンの地主）

マーニャ（Mezzo 又は Sop.）（ジプシーの占い女）

モーリツ・ポプレスク（Bar.）（ハンガリーの貴族）

ボツェーナ侯爵夫人（Mezzo 又は Sop.）（タシロの叔母）

チェコ（Ten. 又は Bar.）マリツァの召使）

カール男爵（演技のみ）（タシロの友人）

ユリシカ（Sop.）（子役）

※チェコ役は本来歌唱がありませんが、本公演版では挿入曲として、オペレッタ「ファッシング・フェー」より“僕には楽しみが”を追加します。

※ユリシカについては、合唱部から選出する場合があります。

※ベルコ（ジプシーの男）の募集は行いません。

■募集資格：1）年齢不問。 ※未成年の方は保護者の同意が必要です。

2）喜歌劇楽友協会会員以外からも広く公募します。ただし、会員以外の方が合格した場合は、喜歌劇楽友協会に入会することを条件とします。

（入会登録料 2,000 円、年会費 5,000 円が必要となります。）

3）大学で声楽の専門教育を受けた方、或いはそれと同等の実力を有する方で、指揮者・演出家ら皆と協力しながら舞台を作り上げることのできる方。また、別表①の指定稽古日に出席できる方。

4）別表②に定める規定枚数以上のチケット販売にご協力いただける方。

■審査員： 黒田 晋也（演出・振付・上演台本）

井村 誠貴（公演監督・音楽監督・指揮）

別表① 指定稽古日（終盤スケジュール） ※下記の日程は参加必須となります。

内容	日程 ※いずれも時間未定
粗通し・通し稽古	2027 年 6 月 12 日(土)、13 日(日)、19 日(土)、20 日(日)
予備日	2027 年 6 月 21 日(月)、22 日(火)
オケ合せ	2027 年 6 月 23 日(水)
場当たり	2027 年 6 月 24 日(木)
G.P.	2027 年 6 月 25 日(金)
本番	2027 年 6 月 26 日(土)

※ 音楽稽古は 2027 年 4 月上旬より、立ち稽古は 2027 年 4 月末より開始の予定です。

マリツァ伯爵夫人 作品紹介

20 世紀前半、激動の時代を迎えたハンガリー。

1920 年代末の社会情勢を背景に、失われゆく貴族文化への郷愁と、民族の誇りを映し出すように描かれたエメリッヒ・カールマンの代表作『マリツァ伯爵夫人』。ウィンナ・オペレッタの洗練と、チャールダーシュをはじめとするハンガリー民族音楽の情熱が見事に融合した傑作です。

裕福なマリツァ伯爵夫人と、没落しながらも誇りを失わないタシロ・エンドレディ伯爵は、身分や誤解、互いの矜持によって心を通わせることができません。

一方、タシロの妹リーザと、陽気で人情味あふれるコロマン・ジュパンの恋は、作品に軽やかな喜びと温かな彩りを添えます。

哀愁漂う旋律と華麗なワルツ、躍動感あふれる民族舞曲が、登場人物たちの心情を鮮やかに描き出し、愛と誇りが交錯するドラマを豊かに彩ります。

美しく華やかな音楽とともに描かれるオペレッタの名作です。

■応募方法：

- ・次のオーディション申込フォームからお申込みください。
<https://forms.gle/fMhewvjxCwiLvmRz5>
- ・申込フォーム受領後、ご登録いただいたメールアドレスに 3 日以内にオーディション課題の楽譜及び台詞の PDF ファイル及びその他連絡事項をお送りします。事務局メールアドレス info@operettenverein.com からのメールが受信できるようにドメイン設定をお願いします。万一、3 日以内にメールが届かない場合はお問合せください。
- ・オーディション申込前に、オーディション受験検討のために楽譜 PDF ファイルが事前に必要な方には、右のお問合せフォームからご連絡ください。



申込フォーム QR コード

■応募締切：2026 年 8 月 20 日（木）23 時 59 分

■受験料：

- ・喜歌劇楽友協会 会員 1,000 円／1 人
 - ・喜歌劇楽友協会 非会員 2,000 円／1 人
- ※受験料は、オーディション当日に、会場受付でお支払いください。
- ※当協会専属ピアニストに伴奏を依頼する場合は受験料以外に、会員・非会員問わず伴奏料 2,000 円が必要です。受験料と一緒に、会場受付でお支払いください。



お問合せフォーム QR コード

■審査内容：

- ・台詞を読んでいただいたあとで、別表③の課題曲を歌っていただきます。（暗譜不要）
- ・課題の楽譜及び台詞の PDF ファイルは、事務局よりオーディション申込後に電子メールでお送りします。

別表③ オーディション課題曲 ※ページ数は当協会からお送りする楽譜 PDF のページ数

マリツァ伯爵夫人 (Sop.)	Nr.4 マリツァ登場 P22～28
タシロ・エンドレディ (Ten.)	Nr.3 アリア P17～18
リーザ (Sop.)	Nr.9 デュエット (2 番) P76～79 ※一人で歌唱
コロマン・ジュパン (Bar.)	Nr.6 デュエット P33～37 ※一人で歌唱
マーニャ (Sop.又は Mezzo.)	Nr.1 メロドラマ P8～11
モーリツ・ボプレスク (Bar.)	Nr.14 3 重唱 (1 番) P124～P126 ※全役一人で歌唱
ボツェーナ公爵夫人 (Mezzo 又は Sop.)	Nr.14 3 重唱 (1 番) P124～P126 ※全役一人で歌唱
チェコ (Ten.又は Bar.)	オペレッタ「ファッシング・フェー」より僕には楽しみが
カール男爵 (歌唱なし、演技のみ)	歌唱課題曲なし。台詞のみ。
ユリシカ (Sop.)	Nr.2 2 重唱 (1 番) P12～P15 ※Kinder を一人で歌唱

■合否発表

- ・オーディションの 2 週間後を目途に、個別に合否通知を郵便又は電子メールでお送りいたします。
- ・オーディションの結果によっては、第 1 希望以外の役名の出演をお願いする場合があります。
- ・合否結果及び審査内容に係る一切のお問い合わせにはお答えいたしませんので、ご了承ください。

■その他・留意点

- ・ソリストの衣裳は一部自前をお願いします。
- ・稽古、リハーサル、本番等は、主催者手配による写真撮影及び動画撮影を行います。撮影した映像、写真等は当協会の広報に使用する場合がありますので、ご了承ください。なお、映像及び写真の著作権は主催者にあります。
- ・その他、オーディションや公演に関して不明な点があれば、下記にお問合せください。

■連絡・問合せ先

喜歌劇楽友協会・事務局
info@operettenverein.com

以上

マリツァ伯爵夫人 登場人物紹介

- **マリツァ伯爵夫人** ソプラノ （裕福で美しい未亡人、自由奔放で魅力的な主人公）
- **タシロ・エンドレディ** テノール （ウィーンの貴族）
破産して素性を隠し、マリツァの領地管理人をしている。マリツァと恋におちる。
- **リーザ** ソプラノ （タシロの妹）
明るく天真爛漫。ジュパンと惹かれ合う。ジュパンとのデュエットが多い。物語のキーマン。
- **コロマン・ジュパン** バリトン （ヴァラッシュディーンの地主）
マリツァに求婚しにはるばるやってくるがあえなく撃沈。励ましてくれたリーザに惹かれる。
- **マーニャ** ソプラノ or メゾソプラノ （ジプシーの占い女）
マリツァの運命を占う。重要な役どころ。冒頭のアリアが美しい
- **モーリツ・ポブレスク** バリトン （ハンガリーの貴族）
2 幕のトラブルメーカーであるが、物語の展開を動かす重要な狂言回し・脇役として配されているキャラクターです。喜歌劇楽友協会の公演ではボツエーナ侯爵夫人との楽しいポップなデュエットがあります。
- **ボツエーナ侯爵夫人** ソプラノ or メゾソプラノ （タシロの叔母）
物語後半のどんでん返しの鍵となる人物。ハッピーエンドをもたらす人物。ポブレスクとのデュエットでおちゃめな一面が。
- **チェコ** テノール or バリトン （マリツァの召使）
今回の公演にカールマン作曲の『ファッシング フェー』のオペレッタの中からチェコに歌って頂くアリアが追加されます。
- **カール男爵** （タシロの友人）
誤解の解消と解決のキーマン、フルメツ夫人同様ハッピーエンドを導きます。
- **ユリシカ** ソプラノ （子役）
辛い日々のタシロの心を癒してくれる。1 幕の微笑ましいシーン